

PictMaster 変更履歴

2016/4/25 Ver. 6. 4. 5

【機能改善】

- ・CIT-BACHがv1.10にバージョンアップしたことにもない、CIT-BACHの新機能である値の大小比較に対応した。

2016/4/11 Ver. 6. 4. 4

【バグ修正】

- ・PictMasterを、Cドライブ以外のUSBメモリなどに割り当てられる Fドライブなどに置いて、生成エンジンCIT-BACHで生成を行なうと、エラーとなるバグを修正した。
(v6.0のバグ)

【その他】

- ・PictMasterで多数のワークシートを設けた場合にExcelのファイルサイズが大きくなりすぎて扱いにくくなることを回避するために制約欄を100個から50個に、結果表の行数を100行から50行に変更した。

2016/3/3 Ver. 6. 4. 3

【バグ修正】

- ・生成エンジンにPICTを使用して原型シートを使用した生成およびカバレッジを指定した生成を行なった場合、実行環境によっては正しく処理が行なわれない場合があるバグを修正した。
(v6.0のバグ)

2016/2/1 Ver. 6. 4. 2

【バグ修正】

- ・「カバレッジを指定して生成」で、生成結果の1行目が削除されてしまうバグを修正した。
(v6.4.1のバグ)

2016/1/25 Ver. 6. 4. 1

【バグ修正】

- ・環境設定の「制約式を最適化」と「ゼロサプレスしない」の指定が正しく処理されなかったバグを修正した。(v6.4のバグ)
- ・「カバレッジを指定して生成」で、環境設定で「ゼロサプレスしない」を指定してもゼロサプレスされてしまうバグを修正した。(v6.3以前からのバグ)

2016/1/18 Ver. 6. 4

【機能改善】

- ・環境設定で「冗長なペアをチェック」を指定すると、生成結果の冗長なペアとなる値の先頭にマーク (^) を付加することができるようにした。このマークが付加された値は2パラメータ間の組み合わせがそれ以前のテストケースで100%網羅されているので、任意の値に置き換えることが可能であり、テストケースごとに値の変更に要する作業時間を削減できるようになる。

【その他】

- ・ライセンス規定をFreeBSDライセンスに変更した。
- ・環境設定の「プログレスバーを表示」は使い勝手が良くないので削除した。

2016/1/18 Ver. 6. 1. 1

【その他】

- ・Excel2003でも動作するPictMasterが必要との要望にこたえるため、Excel2003に対応した旧バ

ージョンを再リリースした。

【バグ修正】

- ・ 1つのパラメータでエイリアスかつ無効値である値が2つ以上ある場合に、その2つ以上の値を結果表で同一の期待する結果として同時に指定すると生成結果に結果表の指定が正しく反映されなかったバグを修正した。(このバグは Ver. 6.2 以降で修正済み)
- ・ ある特定の複雑な制約を指定した場合、現状のCIT-BACHで正しくない生成結果が出力される問題があり、その問題を修正したバージョン1.02 のCIT-BACHを同梱した。

2015/9/7 Ver. 6.3

【機能改善】

- ・ 最小テストケース生成およびカバレッジを指定して生成で、プログレスバーを表示する／しないを環境設定で指定できるようにした。
- ・ 生成エンジンにCIT-BACHを使用した場合にも最小テストケース生成でプログレスバーを表示することが可能となるようにした。
- ・ 最小テストケース生成およびカバレッジを指定して生成を実行中に、ESCキーを押して実行を中止した場合にVBAのダイアログが表示されないようにし、ワークファイルおよびワーク用のシートの削除を行なうようにした。
- ・ 環境設定の数値入力欄で入力内容が全角文字の場合にエラー表示を行なうようにした。

【バグ修正】

- ・ ウィンドウ分割を行なった状態でテストケース生成を行なうとVBAのエラーとなるバグを修正した。
- ・ Excel2013を使用して「カバレッジを指定して生成」を実行した際に、プログレスバーが表示されない場合があるバグを修正した。

2015/6/1 Ver. 6.2.1

【バグ修正】

- ・ ある特定の複雑な制約を指定した場合、現状のCIT-BACHで正しくない生成結果が出力される問題があり、その問題を修正したバージョン1.02 のCIT-BACHを同梱した。
- ・ 結果表の左端の罫線が太線で表示されるように修正した。

2015/5/7 Ver. 6.2

【機能改善】

- ・ 制約表で扱える制約指定の数を50件から100件に拡張した。
- ・ 結果表で扱える結果指定の数を50件から100件に拡張した。

【バグ修正】

- ・ 生成エンジンがCIT-BACHの場合にサブモデルの使用でPictMasterのエラーとなる場合があるバグを修正した。
- ・ エイリアスでかつ無効値の値を結果表で指定すると生成結果と一致しないバグを修正した。

【その他】

- ・ ファイル形式をExcel2007以降のExcelマクロ有効ブック (*.xlsm)に変更した。この変更に伴い、本バージョンからExcel2003以前では使用できなくなった。

2015/1/12 Ver. 6.1

【機能改善】

- ・ 拡張サブモデルをサブモデルに一本化した。

【バグ修正】

- ・生成エンジンにPICTを使用して最小テストケース生成を行なった場合、制約指定に矛盾した制約があるなど、PICTが検出するエラーが発生するとVBAのエラーとなる問題を修正した。

2014/11/11 Ver. 6.0

【機能改善】

- ・生成エンジンCIT-BACHに対応した。